



浜松市立雄踏小学校=本社へリ「まなづる」から  
▽住所 浜松市西区雄踏町宇布見799  
7の1  
▽児童数 911人  
▽題字は山本健太君(6年)

# 私たちの学校



浜名湖の東側に位置する雄踏町は、緑が多い、自然豊かな町です。また、浜松市西区役所や雄踏図書館、雄踏文化センター、雄踏総合体育館などの公共施設も充実しています。雄踏小学校は本年度で創立百四十七年を迎える歴史と伝統ある学校です。地域の皆さまにも雄踏小学校出身の方も多くいらっしゃいます。地域の方に温かく見守られながら子どもたちは健やかに成長しています。

## 浜松市立 雄踏小学校



古橋広之進の思いを受け継ぐ水泳部

### フジヤマのトビウオ 熱い思い受け継ぐ

6年 伊藤由惺

雄踏小には古橋広之進という素晴らしい水泳選手がいました。広之進は米国の記者に「フジヤマのトビウオ」と名付けられました。1948年には、世界

記録を打ち立てて優勝し、世界一になりました。さらに、2008年に文化勲章をもらいました。広之進の練習量はとても多く、そのことから「魚になるまで泳げ」という名言が生まれました。この言葉を胸に、雄踏小の水泳部は自己ベストの更新を目指して、日々練習に励んでいます。水泳への熱い思いは今も受け継がれています。

### 地域と連携 豊かな学び

雄踏小学校は、創立百四十七年という歴史と伝統のある学校です。浜名湖の東岸に位置し、のどかな田園風景、美しい里山と発展していく街並みが融合した環境です。



高橋祥一校長

本校は昨年度から浜松市コミュニティ・スクール推進モデル校に選定されました。学校と保護者、地域の皆さまと連携・協働し、百を超える地域や保護者の力を活かしています。

### 学校の歩み

- 明治5年9月 宇布見郷学として創立(田端の弘忍寺精舎を仮校舎とする)
- 明治6年1月 第18小区公立小学校
- 明治7年4月 宇布見校(150番小学校)
- 明治8年4月 妙楽寺(中村)、西光寺(山崎学校)
- 明治9年6月 新校舎建築(初代校長 三宅均氏)
- 明治18年 雄踏尋常小学校【雄踏躰】明治政府初代文部卿 大木喬任筆
- 明治19年12月 雄踏校と山崎小学校が合併
- 明治25年7月 雄踏尋常高等小学校(高等科設置)山崎尋常小学校独立
- 明治40年9月 雄踏尋常高等小学校新校舎建築(分散授業解消)
- 大正11年4月 山崎小学校を合併(山崎分校設置)
- 昭和16年3月 最優秀校受賞(日本水泳競技連盟)、校歌作成
- 昭和16年4月 浜名郡雄踏町国民学校と改称
- 昭和22年4月 雄踏町立雄踏小学校
- 昭和34年4月 山崎分校を廃止
- 昭和34年11月 南校舎(鉄筋コンクリート3階建)完成
- 昭和39年5月 給食開始
- 昭和40年10月 教育課程体育科研究発表会
- 昭和41年4月 特殊学級の設置
- 昭和42年5月 体育館・25mプール完成
- 昭和45年2月 水泳優秀校受賞(日本水泳連盟)
- 昭和47年10月 開校100年記念式典
- 昭和59年9月 耐震工事完成
- 昭和63年12月 運動場拡張工事完成
- 平成元年11月 幼小中一貫教育研究発表会
- 平成4年4月 研究「連携推進」(県指定)
- 平成8年10月 児童用パソコン導入(21台)
- 平成9年10月 ホームページ開設
- 平成10年3月 学童水泳優秀校受賞(日本水泳連盟)
- 平成14年1月 パソコン入れ替え
- 平成15年4月 小中連携型基礎学力定着プロジェクト 教育研究指定校(4年間)
- 平成16年5月 多様な人材活用学習支援教育研究指定校(2年間)
- 平成17年4月 学力向上拠点形成事業(2年間)
- 平成18年7月 市町村合併に伴い、雄踏町立から浜松市立へと名称変更
- 平成19年3月 新校舎・プール・体育館完成
- 平成19年4月 発達支援学級(情緒)設置
- 平成20年3月 運動場完成、新校舎落成式
- 平成21年4月 小1 30人学級導入モデル事業指定、交通安全教育推進モデル校
- 平成22年4月 小1 35人学級編制施行
- 平成23年4月 共生共育推進事業指定
- 平成24年9月 静岡県小中学校器楽合奏大会器楽の部 県知事賞・ヤマハ賞受賞
- 平成25年10月 浜松市教育委員会指定(すこやかな子どもの育成)研究発表会開催
- 平成26年7月 はごろも教育研究助成賞復数年
- 平成26年11月 静岡県学校保健会歯科保健優良学校
- 平成27年3月 雄踏小イメージキャラクター「ゆうさく」誕生
- 平成29年4月 学校事務センター設置
- 平成29年11月 「ゆうさくジャングルジム」設置
- 平成30年4月 浜松市コミュニティ・スクール推進モデル校(2年間)
- 平成31年4月 発達支援学級(肢体不自由)設置

### 学校の魅力伝える マスコットキャラ

6年 大芦湧太



学校のマスコットゆうさく(右から2番目)とゆうとらランジャー(左から5人)

雄踏小には、学校のマスコットキャラクターの「ゆうさく」がいます。二〇一六年には、ゆるキャラグランプリに出場しました。雄踏小の象徴の花である桜と、かわいさで有名なじみの猫が合さり、ゆうさくのもととなる「さくらねこ」ができました。その後の名前投票で「雄踏に桜が咲く」という言葉から「ゆうさく」と「さく」を取り、ゆうさくの名前が決まりました。それから、雄踏小には「ゆうとらランジャー」というヒーローもいます。五人いて、それぞれ色で名前がつけられています。レッドはいつでも元気で名前がつけられています。レッドはいつでも元気が、イエローはどんな時も笑顔、ブルーはいつでも輝く、ホワイトは友達たくさん、グリーンは友達たくさん、グリーンは友達たくさん、モリを合言葉に、雄踏小を盛り上げています。「ゆうさく」と「ゆうとらランジャー」の二つをずっと引き継いでいきたいです。

### 家庭科の知恵教わる

6年 飯田結加



地域住民にミシンの使い方を学ぶ子供たち

本校では地域ボランティアの方に来ていただいて、一緒に学習をしています。五年生の家庭科でミシンを使う実習の時、下糸の掛かけ方や巻き方を教えていただきました。四・六名ほどのボランティアの方が優しく丁寧に教えてくださるので、楽しく学んでいます。ミシンを使うのは初めてでしたが、うまくエプロンを作ることができ、ミシンを使うことが好きになりました。これからも地域ボランティアの方に教えていただきたいことを生かし、頑張っていきたいです。

### 「ゆうさく」とあそぼ!

6年 坂下愛梨



ゆうさくジャングルジムで遊ぶ子供たち

私の学校には、ゆうさくジャングルジムがあります。ゆうさくジャングルジムは、創立百四十五周年を記念し、「もっと遊具がほしい」という皆の要望に応じて建設されました。雄踏小のマスコットキャラクター「ゆうさく」がモチーフとなっていて、ゆうさくと一緒に遊んでいる感覚になります。全校の皆が楽しく安全に遊べるように、ゆうさくの頭の部分には足を掛けられない、中央の上り棒は上から滑り降りないなどのルールが決まりました。これからは全校の皆と、楽しく安全に遊んでいきたいです。

### あいさつ心まで届ける



中村幹男ゆうさくコミュニティ・スクール協議会会長

「おはよう」「おはようございます」の元気な声が、どの通路からも聞こえてきます。このあいさつが、地域と学校が一体となるきっかけです。子どもたちは小さいころから、家庭や学校で「こういふ時はこうするんだよ」と形から入って、心にも届くあいさつの仕方や大切さをさまざまな機会や場所で見学しています。私も登校を見守りながら、急いでいる通勤の方にも、見のある、よい時間の流れがある朝が、私は大好きです。



教室であいさつをする生活安全委員会

例があります。それは、①誰にでも②名前を呼んで③笑顔で④お辞儀をして⑤相手の目を見てあいさつをするということです。生活安全委員は毎朝、登校してくる人たちにあいさつをしたり、各学級にあいさつをしに行ったりしています。昇降口であいさつ運動をする時は、たくさんの方が自主的に参加しています。あいさつウオークという活動もあります。これは、時間を決めて校舎内を歩きながらさまざまな人とあいさつを交わす活動です。この時は、他学年の人とも明るい声であいさつができます。

### 私たちが作りました

記事をまとめたのは私たちです。

伊藤由惺(ゆいと)君、大芦湧太君、門間澄玲(すみれ)さん、坂下愛梨さん、飯田結加さん。



...教育に新聞を...

